

地区名:開田地域 神田地区

お宝認定

神田地区のかじか供養



神田地区に伝わるかじか供養は、昔から行われている地区の行事です。昔、大雨で山崩れが起きて沢になったところに、なぜか白いかじかが現れたという伝説が残っています。そのかじかを供養するため、毎年6月に行事が営まれているそうです。山中にあるかじかを祀った石碑の前で、お米を備えてお参りします。供養が終わると、集会所に集まって食事会が開かれます。さまざまな世代の住民が集まり、雑談もにぎやかで話題が尽きることはありません。「他の地区ではお祭りがだんだん行われなくなって寂しいけど、ここでは続けられているよ」と話してくれる方もいました。地域の伝統を受け継いでいくことが、住民同士が顔を合わせ、つながりを深める場になっているのだと感じました。

【意味付け】 伝統継承、世代交流、地域貢献、情報交換